



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO SETAGAYA

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

C/O TOKYO YMCA MINAMI CENTER 3-23-2 MIYASAKA, SETAGAYA-KU, TOKYO, 156-0051 JAPAN

国際会長主題
アジア太平洋地域会長主題
東日本区理事主題
東新部部長主題
クラブ会長主題

「世界とともにワイズメン」
「100年を超えて変革しよう」
「私たちは次の世代のために何ができるか？」
「何が問題か どうしたら良いか 道は一つではない」
「老人だから、やめる を やめる 生涯現役」

キム・サンチュエ (韓国)
大野 勉 (神戸ポート)
大久保知宏 (宇都宮)
松香光男 (東京コスモス)
峰 毅 (東京世田谷)

会長 峰 毅
副会長 小川 圭一
書記 松井 直樹

2021年8月会報

強調テーマ

* L T ・ I B C *

会計 小原 武夫
直前会長 朝倉 正昭
担当主事 江尻 明子

† 今月の聖句

『わたしたちは、何一つ持たないでこの世に来た。
また、何一つ持たないでこの世を去って行く。
ただ衣食があれば、それで足りるとすべきである。』

WE brought nothing into this world,
and it is certain we can carry nothing out.
And having food and clothing
with these we shall be content
テモテへの手紙第一 6章7節
(寺門文雄選)

司 会

小川 圭一 君

1. 開会点鐘 峰 毅 会長
2. ワイズソングと信条 一 同
3. ゲストとビジター紹介 峰 毅 会長
4. 今月の聖句朗読 寺門 文雄 君
5. 生涯現役プログラムから
同窓会理事をしてみても 佐藤 百合子さん
6. ハッピーバースデー 8月7日 松井 直樹君
結婚記念日 な し
7. ニコニコ献金
8. 諸報告
9. 閉会点鐘 峰 毅 会長

※ 8月例会プログラム

と き 令和3年8月20日(金) 18:30~19:30
と ころ 東京YMCA南コミュニティセンター3F
電 話 03-3420-5361

ハイブリッド開催

7月のデータ	会員在籍	14名	例会出席者 7/16日(金)	7月のBF	ニコニコファンド
	出席率	86%	会 員 12名	切手 0g	7月 8,020円
	第2例会	(中止)	メネット 0名	現金 0円	年度計 8,020円
			メイキャップ 0名	累計切手 0g	
			ゲスト 0名		注: JOCS 献金記録の掲載
			ビジター(含むzoom) 4名		すざらん会やコミュニティコンサート
			合計 16名		ではかねてよりJOCSへの応援を行って
			すざらん会 (中止)		いる。
			ゲスト 名		使用済み切手とワンコインの
			スタッフ 名		献金など。
			合計 名		
			新型コロナウイルスの影響で	東京世田谷ワイズメンズクラブは	
				2020年10月31日 社団法人日本	
				キリスト教海外医療協力会(JOCS)	
				に年会費10,000円を納入し継続しま	
				した。	

※ 本日のメインプログラム

「ゆっくり一歩ずつ、みんなの経験と知恵をシェアしましょう！」峰会長の生涯現役プログラムに沿って、佐藤百合子さんに 同窓会の理事をされているということで 元気に過ごす方々のご様子をお話をいただきます。

※ 7月例会報告

峰 毅会長年度のスタート。キックオフ例会に松香東新部部長より、年度方針をお聞きした。



部長主題：何が問題か、どうしたら良いか、道は一つではない。

それぞれのクラブの特色を発揮し、ユネスコで発表された SDG s、持続可能な活動を継続して頂きたい。ワイズメンズクラブ創立100年にあたる時、リモートを活用しクラブ間交流も行いながら、高齢化、会員減少からの脱却を図って頂きたい。



峰会長は、解散消滅ラインを打破する為に、

かつて経験した事のない速度で、クラブ高齢化消滅の危機に直面している中、心は若者だから、オムツを穿いても青年という高度な頓珍漢理論、また成せばなる的な精神論だけでは解決できない命題あり、こんな重大な課題を問題先送りにし、手も付けず議論の俎上にあげず、

なぜ放置したかを考えると、要因の一つに、あたかも自身の体内で腫瘍が増大する中、外界に視点も持っていかれ、有効な医療処置をしなかった様に、新規CS活動が大きく成功し、クラブの力動が内部でなく、地域奉仕など外部へと向かった時期が、20年近くあった事が挙げられます。しかし現在、当主の年齢から体調を勘案しても主宰する、すずらん会は歴史的な使命を大きく果たし、間もなく終焉となる可能性も大きくなっており、CSも大きな転機を迎えています。

上記を受け今期はリセット term とし、あくまで主体は他者でなく我がメンバーと捉え、年齢構成に見合った、身の丈を弁えた無理のない緩やかな、インサイドのプログラムを展開します。70歳以上の認知症の行方不明者が、過去最高の1万6千人となるなど、高齢になる事で生きづらさを覚える事は増えてますが、SDG s 持続可能なクラブを目指して、メンバーが超高齢者になっても心身共に健康で、住み慣れた場所で、いつまでもワイズに参加できるよう、1年通して内部を整え「老人だからワイズを辞めるを止める」事に繋げたいと思います。



具体的には「健やかに老いていく」事を主題に、メンバーより卓話で経験と知恵を語って頂き、クラブ内でシェアしていきます。またフィールドワークで、地域老人クラブやYMCA高齢施設を訪問し、皆さんと一緒に知見を得たいと思います。と峰会長の年度方針が語られた。出席された会員皆様からも、感想を語っていただいた。

(小原 記)

☀ Change ! 2022 推進委員会よりのお願い

会員の皆様

Change ! 2022 は、ワイズ創立 100 周年となる 2022 年をゴールとする東日本区の会員増強運動です。目標とする会員数は、1997 年に東日本区が発足した時の 1,246 名です。

Change ! 2022 プロジェクトも 3 年目に入りました。残念ながら現在状況は、新型コロナウイルスの影響もあり大変苦戦はしております。残り 1 年半で目標数を達成するべく Never give up ! の気概でおりますので是非とも絶大なるご協力お願いいたします。

3 年目のスタートに当たり、新たに会員増強のツールとして『動画で分かるワイズメンズクラブ』のカードを作成しました。これは、カードの QR コードを読み取りスマホでワイズメンズクラブを分かりやすく写真や動画で紹介する内容のものです。

各クラブ会長様に 100 枚のカードを送りました。メンバー各位におかれましては常にこのカードを携行し、機会あるごとに知人、友人、仕事の関係の方にワイズを紹介していただきたいと思っております。スマホサイトの中にワイズへの問い合わせ欄が有りますので、問い合わせが有りましたら関係するクラブまたは部に連絡いたします。サイトの中から各クラブの Facebook に入ることでもできます。カードは、各クラブでコピーして頂いても結構です。QR コードをブリテンや実施されるイベントのチラシに貼り付けることもできます。カードの裏をワイズ名刺として活用することもできます。使い方は多彩です。なお、QR コードは、各クラブ個別になっており、各クラブの活用状況が分かるようにしてあります。Change ! 2022 の起爆剤にしたいと思います。是非、知人、友人、仕事の関係の方にお声掛け下さい。

Change ! 2022 推進委員長 栗本治郎

☀ ソングフェストプロジェクトからのお知らせ

東西日本区のみなさま

このお知らせは、吉田由美さん（大阪中の島）と共同のお知らせということでご理解下さい。アジア太平洋エリアのとりまとめは浅羽俊一郎さんです。

東日本区では理事通信で第一報が流れましたがアジア太平洋エリアの動きとして、ワイズ 100 周年を記念してワイズソングフェストを始めます。

目的はふたつ。まず、アジア太平洋エリアの歌を作りましょう。次に、各国・エリア・リージョン・クラブなどで持っている歌をソングブックにまとめましょう。歌声の溢れるワイズにしていきましょう。とにかくこんな経験 100 年に一度しかありません。

「幸福とは、同じ歌で盛りあがる友だちがいること。」
（ニヤロメ！のお父さん）どうぞ、アイデアや情報、質問などを気楽にお出しください。近いうちに、Facebook ページの活用も希望予定しています。

同時進行で、自然エネルギー関連やお料理クッキングに関するプロジェクトも動いています。

西日本区・吉田 由美（大阪中の島）

東日本区・小川 圭一（東京世田谷）

☀ YMCA 保育園ねがい植栽活動

YMCA 保育園ねがいの園庭・花壇の様子を高橋園長からご連絡いただき、ちょっと寂しい状況になったということで、8 月 7 日に植栽活動をクラブメンバー有志で行おうと予定した矢先、東京の感染者 4,000 名越えとなり、急遽延期といたしました。ただ、寂しい花壇の状況を改善できればと、多少の草花の植え付けを園のスタッフの方々にお手伝いいただき、サンチュラカ等、彩を増した園庭となりましたことご報告まで。

（小原 記）



LT 月間に寄せて

2000年のシドニー五輪のソフトボール日本対米国の決勝戦。延長タイブレーク八回裏、米国選手の打球がゆるやかな弧を描いてレフトにとんだ。捕れる。ベンチは確信した。ボールはグラブに収まったかに見えた。が、転倒しこぼれ落ちた。サヨナラ負けを喫した。

左翼の選手が更衣室でうなだれていた。チームを率いた宇津木妙子監督は、長く後悔する一言を発しています。「いつまで泣いているんだ。お前のエラーで負けたんだろ」。励ますつもりだったが、言いすぎてしまった。ナインの気持ちを代弁し、主砲の宇津木麗華選手が声をあげた。「あれは、みんなのエラーです」

「ソフトボール・マガジン」8月号で妙子さんが述懐している。「選手のせいにした自分が今でも恥ずかしい」「なんて情けない監督なんだ」、監督は、こうと決めたら最後まで迷わずにやりきるしかない。それで負けたら、責任はすべて指揮官にあるのだ。東京五輪のスタッフに、自分の経験と反省をつたえたい、と。

宇津木麗華監督が胴上げされた。北京出身。妙子さんにあこがれ反対する父親を説得して、日本に帰化する。日本代表で金。自身の夢と、中継にくぎ付けになった人々の願いを、冷静な采配でかなえてくれた。試合後、エース上野由岐子投手を「神様」とたたえ、周囲に頭を下げていた。「二人の宇津木」の物語が完結した。

(日経新聞 春秋 2021. 7. 29 より)

☀ YMCA NEWS

▼ 6月28日～7月3日に、「第24回会員芸術祭」が開催され、会員、留学生、メンバー他、関係者40人から51作品の展覧があった。

昨年は新型コロナウイルス感染防止のためホームページ上の開催としたが、今年は東陽町センターを会場に実施した(例年のオープニングイベント等は3密回避のため中止)。

会員有志による芸術祭実行委員会が運営全般を担った。

▼ 7月12日から緊急事態宣言が出されたことを受け、予定していた宿泊を伴う夏キャンプ(10プログラム)は中止することとした。

代替プログラムとして、高尾のわくわくビレッジを利用した日帰りプログラムを実施している。

猛暑の中、施設を有効に使用しつつ、屋外での活動を実施し、工作や探検等、友だちとの交流の時間を楽しんでいる。

コロナ禍の影響を含め経済的な理由でプログラムに参加が難しいご家庭を対象に、所得に応じて参加費を補助する「フレンドシップファンド」の対象者も数名参加。

▼ 今後の主な行事日程

「第35回インターナショナル・チャリティーラン」
(スマートフォンアプリを使ったウォーキングイベントとして開催)

個人参加 : 10月16日～22日

チーム参加 : 10月23日～31日

(江尻明子 記)

☀ 小川会員より「本」寄贈

「YMCA 保育園ねがい」へ読み聞かせの機会にと2冊の本を寄贈されました。

「湘南自然史」「キジのかぞく」

古い友人の野鳥の会・元事務局長、飯塚氏より頂いたもので、ねがいの子供さん、親御さんと共に自然観察のことなどワイズの皆さんと共に行うプロジェクトもかなえられることを願っています。



会費 及びファンドのお振込み 銀行口座のお知らせ

みずほ銀行 経堂支店

普通口座 : 1200041

トウキョウセタガヤワイズメンズクラブ